



校長 平田善久

同窓会の皆様には、いつも大変お世話になっております。

創立150周年を前に、同窓資料館の展示室設備改修を目的に、令和3年10月から5年3月までご寄付をお願いしてございましたところ、多くの同窓生の皆様から目標を上回るご支援を頂戴いたしました。今後、賜りましたご芳志により当初目的の整備を行ってまいります。心より御礼申し上げます。

来年度は、150周年であると同時に、「岡山朝日高校」となってから75周年という、記念すべき大きな節目となります。現在、同窓会の皆様ともご相談しながら、上記整備事業のほか、様々な記念の行事、事業を企画しているところでございます。

生徒たちは、本校の歴史にさらに一層を重ねるべく、文武両道に邁進しており、進学実績はもちろん、今年度に入りまして、部活動では、陸上競技部が激戦の中国総体を突破して女子の100m×4リレーや三段跳びなどで10名が、弓道部男子が20大会ぶりに県総体の団体優勝を果たして6名が北海道インターハイに出場いたしますし、文学部は例年松山市で開催の俳句甲子園に6年連続出場、鹿児島総文祭にも放送文化部、囲碁将棋部（囲碁）、文学部、管弦楽部が出場いたします。先日の壮行式には、入江泉同窓会理事長にご臨席いただき、各部に同窓会からの全国大会出場支援金をお渡しいただきました。

また、野球部は今夏の1、2回戦で劇的逆転勝利をおさめ、ベスト8を懸けた戦いに敗れはしましたが、在校生、保護者、野球部OB、同窓生、旧・現職員による大応援団が選手たちを鼓舞しました。

ポストコロナの時代を迎えておりますが、本校は150年の歴史に恥じぬよう、勉学と部活動、朝日祭や富士登山等伝統の学校行事、イギリス・ケンブリッジ研修、新たな学術探究等の取組をとおして、自主自律、自重互敬の精神を実現すべく努力し、新時代のグローバル社会や地域社会の未来を開拓する人材育成に努めてまいります。

今後とも、同窓生の皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

## 文武両道～活躍する朝日生～

令和5年1学期終業式に表彰披露及び壮行式が行われた。3学年が揃って体育館に集まって実施されたのは新型コロナウイルス感染症拡大以降初であった。表彰された部活動数は10に及び、全国大会出場の部の壮行式と合わせて1時間あまりにわたった。

以下に壮行式で激励された部について紹介する。

### 弓道部

20年ぶりに男子団体の北海道インターハイ出場をつかみ取った。顧問の原田教諭は「試合本番で一人ひとりが自分のやるべき事をやり、最後まで諦めずに戦い抜いた結果、勝利を勝ち取った。朝日高校や、OB・OGで構成する弓友会のバックアップが大きかった。」と語った。



### 陸上部

リレーを含め5種目で、北海道インターハイに3年連続で出場する。顧問の白井教諭は「負けや怪我を経験しながらも、弱音を吐くことなく高い目標に向かってひたむきに努力した。インターハイで勝負する

ことを目標に、何が必要かを自問自答しながら練習に励んできた。」と部員について語った。



### 囲碁将棋部

全国高校囲碁選手権大会に、男子団体と女子団体で出場する。男子は平成24年度以来、約10年ぶりの団体優勝である。



また、鹿児島総文祭に男子個人戦で田野太一さんが出場する。



### 文学部

俳句甲子園全国大会に、6年連続7回目の出場をする。6月に行われた地方大会（大阪会場）では、強豪校を破り、全国大会出場の切符を手にした。投句審査ではなく地方大会を勝ち抜いて



の全国出場となった。また、鹿児島総文祭に吉田有希さんが俳句で出場する。

### 放送文化部

NHK全国放送コンテスト朗読部門及び、鹿児島総文祭に出場する。総文祭に出場する井上真緒さんは朝日高校の先輩である小手鞠るいさんの『空と海のであ場所』を朗読する。



### 管弦楽部

鹿児島総文祭に器楽・管弦楽部門で出演する。「本番では、お客さまも私たち自身も音楽の大きな喜びを得られるようなパフォーマンスができるようがんばりたい」と意気込みを語った。



文武両道を目指し、日々学業と部活動を両立させようと努力している朝日生たち。華々しい成果の背後にある精一杯の努力に思いを致しつつ声援を送りたい。